

項番	答申意見案	対応状況
1	<p>○農福連携の推進に当たっては、互いに特性や考え方を理解することが重要であり、農福連携推進センターとJA・農業委員会組織との連携強化や、農業者と福祉関係者の間を取り持つコーディネーターの育成が必要である。</p>	<p>○戦略3政策1の施策「障害者の就労支援の充実・強化」に農福連携の推進を記載しており、事業実施の参考意見にも活用</p>
2	<p>○戦略3の目的は一億総活躍社会の実現であり、その最重要課題は働き方改革、生き方改革だと考えており、県民一人一人が生涯を通じて活躍できる生きがいを感じる環境をつくるのが大切である。</p> <p>○政策の対象が、女性、高齢者、障害者に偏っているが、壮年男性の力が十分に発揮できる環境づくりも必要である。</p> <p>○女性・高齢者の高い就業率（有業率）と若年層の東京圏への転出の因果関係等実態の分析が必要である。</p> <p>○介護離職者や、いわゆる「ひきこもり」の現状の把握と、そこに至る分析が必要である。</p>	<p>○戦略3において、一億総活躍社会を参考にねらいを記載。政策1に「働き方改革を推進」と記載するとともに、主な施策にも記載。</p> <p>○戦略3政策1において、「男性も女性も働きやすい職場環境づくり」を記載。</p> <p>○本県の現状p10において、30代女性の非正規での有業率の比較を記載</p> <p>○戦略4政策2の施策「心の健康対策の推進」や地域包括ケアシステムの深化・推進に係る諸施策を記載</p>
3	<p>○教育について、プログラミング等、時代に対応できる、幼少期からの教育が必要である。</p> <p>○高齢者は車の運転ができなくなると、外出をせず、気分が落ち込み、元気もなくなるので、高齢者ための新たな交通手段を考えるべきである。</p>	<p>○戦略2政策1において「幼児教育の充実」を記載。戦略2政策2において「変化に対応した人材育成を図る」旨を記載。</p> <p>○戦略5政策1において「新たな交通サービスの導入に向けた取り組みを進める」旨を記載。</p>
4	<p>○基幹産業に「エネルギー産業」「観光業」を追加し、県をあげた取り組みが必要であり、観光面では滞在日数や消費額に目を向ける必要がある。</p> <p>○リニア開業を山梨全体の経済効果につなげるためには、民間からの投資を受け入れて、共同開発をしていくことが必要である。</p> <p>○後継者不足対策として、大手企業の優秀な山梨出身者がUターンして地元で働く仕組みを構築する必要がある。</p> <p>○知識や学力または経験を活かしてチャレンジし成果を創り上げる人材を育てるには、最先端で活躍する経営者やクリエイターの生の話を聞く機会を定期的につくる取り組みがよい。</p> <p>○目指すべき本県の姿「県民一人ひとりが豊かさを実感できるやまなし」は大変わかりやすいが、「持続可能」や「サステナブル」という言葉を入れるとさらによい。</p>	<p>○戦略1政策1において「次世代のエネルギーに関連した産業」を記載。観光業については、政策2に位置づけ、高付加価値化に努める旨を記載。</p> <p>○戦略1政策1の施策「リニア中央新幹線の開業に向けた取り組みの推進」に記載。</p> <p>○戦略1政策5の施策「企業支援の充実」の「事業承継の促進」の参考意見として活用。</p> <p>○戦略1政策1の施策「起業（創業）支援の充実・強化」の参考意見として活用。</p> <p>○総合計画のSDGsの関係を記載するとともに、計画の推進において政策の位置づけについても整理。</p>
5	<p>○子育て支援は、出産年齢がかなり幅広いため、育児と介護を加味した支援も必要である。</p> <p>○障害者・高齢者が活躍できる環境の整備として、車に頼らない交通環境の整備が求められる。</p>	<p>○戦略3において「介護などの家庭事情等に関わらず活躍できる環境づくりを進める」旨を記載。</p> <p>○戦略5政策1において「新たな交通サービスの導入に向けた取り組みを進める」旨を記載。</p>

項番	答申意見案	対応状況
6	<p>○生きがいを感じるには、マズローの第3段階「所属と愛の欲求」以上の人を育む必要があり、がんばる人を社会がほめ、失敗で折れない心を育むことが重要である。</p> <p>○環境の整備とは「所属と愛の欲求」段階以下を整える策であり、保育士育成、保育所での経験者活用、支援・配慮が必要な子への対応についての研修などが必要である。</p> <p>○社会的サービスの利用の自動化として、公的サービス利用手続きの簡素化・代行等、障害児や高齢者の公的サービス申請手続きの簡素化、廃止等が求められる。</p> <p>○義務教育における税金・年金の教育が必要である。</p>	<p>○戦略2などの個別施策を実施していく上での参考意見として活用</p> <p>○戦略3などの個別施策を実施していく上での参考意見として活用</p> <p>○戦略4などの個別施策を実施していく上での参考意見として活用</p> <p>○戦略2などの個別施策を実施していく上での参考意見として活用</p>
7	<p>○豊かさを最終的にどう測るかが課題だが、豊かさとは経済的なものよりも人との繋がりであり、孤立が貧困に繋がる可能性があるため、繋がり豊かさを指標に取ることも検討してはどうか。</p> <p>○すぐに問題解決に動きがちであるが、まずは問題発見、既存のシステムでどうして対応できないのかを丁寧に検討しなければ、政策が絵に描いた餅になってしまう。</p>	<p>○基本理念で「豊かさの実感」に向けてという項目で考え方を整理。</p> <p>○今後の施策・事業検討の際の参考意見として活用</p>
8	<p>○子育てに特別な支援を要する保護者等も存在するため、子育て不安や児童虐待への予防的な関わりが必要であり、サポート体制の構築が求められる。</p> <p>○今後整備される子どもの心のケアに係る拠点を、子育て支援の充実に向けた取り組み拠点として有効活用することも重要である。</p> <p>○障害者の就労については、就労前の支援（準備）が重要であり、障害者就業・生活支援センターを中核とした就労支援のほか、その手前での支援とつながりが必要である。</p>	<p>○戦略4政策2の施策「児童虐待防止対策の強化」に記載。</p> <p>○戦略4政策2の施策「子どもの心のケアに係る相談支援・医療提供体制の強化」に記載。</p> <p>○戦略3政策1の施策「障害者の就労支援の充実・強化」に記載。</p>
9	<p>○女性が働き続けるには、男性の意識が、ジェンダー役割分担の固定観念から解き放たれ、家庭・家族に積極的に関わる方向になることが重要である。</p> <p>○Iターン企業、ITスタートアップ、外資企業を県内に呼び込み、デジタル時代の働き方や、若者・女性・外国人にとってより働きやすい職場を創出する必要がある。</p> <p>○留学生を増やし、地元企業でインターンした経験を発信し、留学生をさらに呼び込み地元への定着を促す循環を生み出せる可能性がある。</p>	<p>○戦略3政策1に「多くのポテンシャルを秘めている女性の活躍を促進するため」の環境づくりについて記載。</p> <p>○戦略3政策1に「広く男性も女性も働きやすい職場環境づくりを進める」旨を記載。</p> <p>○戦略3政策3において「外国人材の受け入れ」の推進について記載。</p>

項番	答申意見案	対応状況
10	<p>○山梨の強み・弱みの要因は何なのかを分析し、対策を図ることで具体的『方向性・ねらい・政策』が明確になる。</p> <p>○女性・高齢者の活躍の現状や障害者雇用の現状に関する具体的数値や実態の把握がしにくいいため、実態調査等実施方法について検討が必要である。</p> <p>○中小企業等では女性社員が少ないことから、企業枠を超えた女性同士の連携や交流等による、現場ボトムアップ型の改善提案スキームを構築する等、実効性のある検討が必要である。</p> <p>○外国人の受け入れに関しては、企業等ビジネスベースでの目線の他、地域住民の居住環境の変化等にも考慮する必要がある。</p>	<p>○時代の潮流や山梨県の現状等から、政策体系までの記載において流れを考慮。</p> <p>○戦略3政策1の施策実施の参考意見として活用。</p> <p>○戦略3政策1の施策「女性活躍社会の実現」の事業実施の参考意見等として活用。</p> <p>○戦略3政策3の施策「外国人材の受入促進及び外国人との共生推進」に記載。</p>
11	<p>○困難を抱えた人々を支援するため、山梨には様々な素晴らしい施設があるが、連携がなかなか取りづらいつ感じている。</p> <p>○外国人の留学生についても、関係機関の連携が取れることで、県内での就職につながり、優秀な人材の確保に繋がるのではないかと考えている。</p> <p>○非正規雇用について、保育士や介護など人の支援をする方たちの身分、収入の保証をしっかりとしていけるような世の中にできればよいと考えている。</p>	<p>○戦略4政策2において、「地域をともに創っていく地域共生社会の実現」「多様な主体の連携の推進」と記載。</p> <p>○戦略3政策3の施策「外国人材の受入促進及び外国人との共生推進」の実施にあたっての参考意見として活用</p> <p>○戦略3政策2及び戦略4政策2の施策として人材の確保・定着のための取り組みを記載。</p>
12	<p>○県内では上野原など郡内は後回しにされてしまう傾向があるが、東京から人を呼び込める場所として認識してもらいたい。</p> <p>○県会議員が女性1人なので、政策を決定する女性を増やしてほしい。</p>	<p>○施策・事業の実施にあたっての参考意見として活用</p> <p>○女性活躍社会の実現については、戦略3政策1の施策として記載。</p>
13	<p>○「県民一人ひとりが豊かさを実感できるやまなし」はお金の豊かさだけでなく、「幸せ」または「生きがい」、「暮らしやすさ」としてはどうか。</p> <p>○心地よい人との関係づくりが、職場や地域を結びつけていくので、基本的な人間教育・心のうらおい教育、またボランティア教育等の項目が必要である。</p>	<p>○基本理念で「豊かさの実感」に向けてという項目で考え方を整理。</p> <p>○戦略5政策3において地域を支えるコミュニティづくりについて整理しており、今後の施策・事業実施の参考意見として活用。</p>
15	<p>○正規・非正規を問わず働きがいを持って生活できることを目指していくべきである。</p> <p>○活躍できる環境づくりは子育て世代だけでなく、介護を担う50代、60代が働きがいを持って生活できることが大切である。</p> <p>○山梨の働きやすさをPRしつつ、ICTを活用した働き方改革を推進し、クリエイティブな働きがい、生き甲斐をもって生活できる社会の実現につなげていきたい。</p>	<p>○豊かさの実感に向けて、において、「人生の各段階において自己実現を達成できるような環境づくり」と記載。</p> <p>○戦略3政策1において「介護などの家庭事情などに関わらず」と記載。</p> <p>○戦略3政策1の施策「働き方改革の推進」の実施の参考意見として活用</p>

項番	答申意見案	対応状況
16	<p>○今後、保育所等に通う3歳未満児の増加が見込まれ、保育の無償化も始まることで、保育士の人材不足が見込まれる。</p> <p>○子育て支援センターや教育センター等子育て環境の戦略的な周知や広報が必要である。</p> <p>○保育や幼児教育から小学校への接続連携の課題として、放課後児童クラブの不足等があるため、教室等の学校施設活用を考える必要がある。</p> <p>○食物アレルギーの対応が遅れており学校給食が食べられない子どもが多いため、乳幼児期から小学校と連携しながら対応を進められる体制が必要である。</p> <p>○保育の取り組みの方向性としては、子育て支援を玄関口として各施設や団体をつないで小学校就学への流れをつくる必要がある。</p> <p>○甲府周辺には乳幼児を連れていく公園・施設がないので、保育園、子ども園、幼稚園等も子ども公園化して解放する等検討していただきたい。</p> <p>○外から来た人、よその人への思いやりやおもてなしの気運が必要だが、それには山梨の良さを知ることと、今ある環境をどう活用するかを考える必要がある。</p>	<p>○戦略3政策2の施策「保育等人材の確保・定着、質の向上の促進」を記載。</p> <p>○戦略3政策2の施策「子育て世帯への支援の強化」実施の参考意見として活用</p> <p>○戦略3政策2の施策「放課後児童の居場所づくり」を記載。</p> <p>○戦略4政策1の施策「難病などの疾対策推進」においてアレルギー疾患対策を記載。</p> <p>○戦略3政策2に係る施策等の実施の参考意見として活用</p> <p>○戦略3政策2に係る施策等の実施の参考意見として活用</p> <p>○戦略1政策2の施策「受入環境の整備」、戦略3政策3の施策「郷土学習の推進」において記載。</p>
17	<p>○中小企業の働き方改革が進めば、若者の定着促進につながり、子育て・介護しながら、仕事を長く幅広く続けられ、影響も大きい。</p>	<p>○戦略3政策1の施策「働き方改革の推進」実施の参考意見として活用</p>
18	<p>○何が可能性で何が課題なのかがわかりやすく表記したほうが良い。</p> <p>○県外に進学し、外側から故郷を見たときに感じたことや、学んだことを故郷の発展に生かす受け皿があることが望ましく、郷土愛を育んでいく環境が大切である。</p> <p>○働き方改革で労働時間を短縮すれば、ボランティアや自己啓発、スポーツ等様々な社会教育活動に充てることができる。</p> <p>○産前産後ケアセンターの利用促進、ネウボラの導入、年度途中での保育園の入所に対するの対策、0～3歳未満児の保育環境の充実などの検討が必要。</p> <p>○「障害者の就労支援」では、個々の特性を生かした就労ができるよう、芸術等分野や大学進学などにも対応できる仕組みを整えるべき。</p>	<p>○可能性と課題に分けるとともに、さらにいくつかの項目に分類して整理。</p> <p>○戦略3政策3の施策「郷土学習の推進」を記載。</p> <p>○戦略3政策1の施策「働き方改革の推進」実施の参考意見として活用。</p> <p>○戦略3政策2の施策「健やかな妊娠・出産の支援」「保育等人材の確保・定着、質の向上の促進」「多様な保育ニーズに対応できる環境の整備」に記載。</p> <p>○戦略2政策1の施策「一人ひとりに応じた特別支援教育の推進」実施の参考意見として活用。</p>
19	<p>○少子化で少ない子どもを大切に育てて、命の大切さを支えていくことが重要である。</p>	<p>○戦略3政策2において「安心して子どもを産み育てることができる環境整備」について記載。</p>

項番	答申意見案	対応状況
20	<p>○山梨は東京からの微妙な距離と小さな規模から中途半端な印象だが、リニア開通で実験都市として最適な規模と評価される可能性が高く、海外や国内の事例等の研究が重要である。</p> <p>○山梨は市町村の中にはパフォーマンスの高い市町村もあるが、そのイメージがなく人材流出につながる恐れがあるため、新しく先進的なイメージが必要である。</p> <p>○県内の優秀な人材、Uターン人材に加え、本当に魅力的な場所には縁もゆかりもない人たちが世界中から集まり、周囲の人材に影響を与え、波紋のように拡がり地域全体が活性化していくことが望ましい。</p>	<p>○戦略1政策1の施策「リニア中央新幹線の開業に向けた取り組みの推進」実施の参考意見として活用。</p> <p>○取り組みの方向性において「魅力的な仕事を増やしていく」「多様な個人の個性や能力が発揮」等と記載。</p> <p>○戦略3政策3において「継続的に地域に関わる関係人口の創出、拡大」について記載。</p>
21	<p>○本県の女性有業率が全国平均を上回る状況で転出抑制等の諸問題が解決しない理由について、分析する必要がある。</p> <p>○働く女性だけでなく、専業主婦等家庭の中心としている女性にもスポットを当てていくべきである。</p>	<p>○人口ビジョンにおいて、若年女性を中心とした人口移動について分析。</p> <p>○戦略3政策1において、「誰もが社会の担い手として活躍する」旨を記載。</p>
23	<p>○子連れ出勤、弾力性のある働き方、県庁内の保育所設置、山梨県独自のダイバーシティ経営指標策定や、同性パートナーシップ制度の導入検討が必要である。</p> <p>○児童、生徒のインターンシップ制度促進や放課後アフタースクールの導入等について検討する必要がある。</p>	<p>○戦略3に関する今後の施策・事業実施の参考意見として活用。</p> <p>○戦略2に関する今後の施策・事業実施の参考意見として活用。</p>